



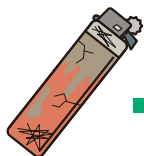
## 》ごみ収集車の火災事故防止にご協力を！

市内でごみ収集車の火災が起き、消防車が出動する事態が発生しています。原因は使い捨てライターや中身の残ったカセットボンベ・スプレー缶などの危険ごみの混入であると考えられます。

このような事態を未然に防ぐため、車両火災の原因となる危険ごみを一時集積所に出す際は正しく分別を行い、適切な方法で出してください。危険ごみの分別方法など、詳しくは津市ホームページやごみ分別アプリ「さんあ〜る」でご確認ください。



### 使い捨てライター



使い捨てライターだけを  
透明・半透明の袋に入れて



中身を使い切って  
危険ごみの日に出す  
(3カ月に1回)

車両火災を防ぐために  
ご協力ください！



### カセットボンベ・スプレーなどの缶



カセットボンベ・スプレー缶だけを  
透明・半透明の袋に入れて



中身を使い切って  
危険ごみの日に出す  
(3カ月に1回)



中身を使い切って  
穴を開けたものは、  
金属の日にも出せます



## 》知っていますか？燃やせるごみのリサイクル

### 灰のリサイクルについて

ペットボトルや容器包装プラスチックごみはリサイクルされ、いろいろな製品になっていますが、燃やせるごみを処理したあとに発生する灰もリサイクルされています。津市内の焼却施設から出る灰は、処理業者に運ばれた後、河川の護岸工事に利用する石材やセメントの材料として活用されます。



護岸工事の石材にリサイクルされた灰

### 燃やせるごみを減らすために

令和2年度に津市の焼却施設から出た灰はおよそ1万2,000トンです。灰はリサイクルされますが、多くの費用がかかります。灰の量を減らすには燃やせるごみの量を減らす必要があります。燃やせるごみの量を減らすため、リサイクルできる紙類や布類などは燃やせるごみの中に入れず、資源ごみの日に出すなど分別にご協力ください。

